



この言葉を聞いたのは、ごく最近の気がする。

新聞で、アメリカの国のお年寄りの方のプレゼントで、これを見るとナントカというキカイがブームになっている、というようなニュースを読んだことがある。

目が見えにくくなっている高齢者が、紙の本ではなく画面の字を読めるのであろうか、と不思議に感じた。が、またもや先日の新聞で「あと二年もしたら本はなくなっていくのではないだろうか」というようなコメントをしている方の記事があった。

え、たった二年で？と、びっくりしたが心の片すみでは本当にそうなるかもしれない、とも感じた。

時代は想像を絶する速さで変化している。

本は本屋さんでつくられた本を買う、という概念が変わりつつあるのか...

そういえば英語の単語は辞書で、と思っていたが、最近四角いものを手にピッピッと指で押して意味調べをしている風景をみる。

場所を調べるのも、地図帳やガイドブックがなくても、インターネットで現地を見ることができるので、本当にびっくりする。

明治生まれで、二年ほど前九十八才くらいで召された方が、

「この八十年くらいで本当に世の中は変わりました」と言われていたが、そのひとつ、書籍をみて「電子書籍」なるものの出現におどろきとよろこびを感じている。

今まで自分で書いた文章を公にしたといたら、

昔、新聞の投稿をして一度だしてもらったくらいである。

それが急に、、書けばパソコン上にアップできると知ったので、数日前から書きはじめた次第である。

すごい時代になったものである。